

読者の声 - AAINews 第 100 号を記念して -

1995 年以降継続的に AAINews を発行され 100 号に至ったことに敬意を表します。その間 ODA を取り巻く状況等が揺れ動くことにも左右されることなく、常に現場における農業技術支援に対して信念を曲げずに取り組み続けてきた証明でもあると感心しております。乾燥地農業、自然資源管理、研修と普及、NGO との連携などを大テーマとして、いろいろな視点で自然や人々をみつめて書かれている文書は、それぞれ技術的資料としてまた読み物として興味深いものです。今後とも腰を据えた活動を展開されることを大いに期待しております。

西谷光生
NTC インターナショナル株式会社技術品質管理本部

さきの大戦後、わが国は発展途上国開発援助を外交政策の柱のひとつに据えたが、農水産林業技術開発は重点援助分野の一角を占める。半世紀以上にわたるこの活動は相応の成果を挙げたとは言え、その取り組み方には改善を要する課題が少なからずあった。事業の継続性の欠如、人的交流の永続性の不足、共通語としての英語併用、情報蓄積とアクセス面の障害、人材不足など。これらの課題の解決のために民間企業の立場から現場で率先努力してこられたのが国際耕種(株)である。これは AAINews を読むだけでも直ちに分かることである。企業としてさらなる発展のため敢えて申せば、自然環境保全分野への拡大、人材育成、他言語併用などではなからうか。

田井中勝次
(元)アラビア石油株式会社

AAINews 第 100 号発刊、おめでとうございます。創刊号の「長期専門家として UAE に 1 名、シリアに 1 名、短期派遣でオマーンに 1 名派遣。」との記事を読むと、現在の派遣人数と隔絶の感があります。1995 年 10 月 1 日から 23 年目、成人も越えてようやく AAINews も一人前でしょうか。実はこの創刊号の前に、会社設立の翌月(1985 年 1 月 11 日)には、A4 版 1 枚の AAINews が創刊され、私の手元には白黒の黄ばんだ AAINews があります。ここには 4 つの業務内容とともに、「地域住民の役に立つ技術の開発・移転に取り組んでいきます。」との設立趣意が書かれています。途上の地域は治安的にも難しいですが、そこに住む人のための技術や工夫をこれからも、楽しく読ませていただきます。

米倉伸子
株式会社トリプル・オー

AAINews 第 100 号記念おめでとうございます。スタッフが断続的に海外出張に出かけ、また国内研修業務などで忙しい中、AAINews づくりが続けられたことは、素晴らしい成果だと思います。製作の段階でのミーティングなどで、原稿が遅れている、早くやろうという掛け声がよく聞かれ、緊張感のある体制が出来ていると感じています。内容も世界各地、日本各地での現場の話が中心で、人間の交流の楽しさとともに、細かな栽培技術等の話もあり、難しさも感じられます。仕事の成果や地域の問題、課題も垣間見られ、興味深く思っています。益々のご発展を祈念致します。

坂場光雄
株式会社エコプラン

AAINews 第 100 号記念おめでとうございます。言葉では継続は力なりと言いますが、これまで守り育ててこられたご努力に敬意を表します。忘れた頃メールに乗せて送られてくる AAINews は即開いて最初から最後まで一気に読んでしまいます。程よい長さ、写真による臨場感がいいです。不思議なことに取り上げている話題が私の過去の経験に関係するという接点があるため、一言コメントに及ぶわけです。これからもホットな現地情報を期待しております。各文末に執筆者の氏名を出していただけるとありがたいです。

鯉淵登
元 JICA 派遣専門家

「根のデザイン」というワークショップが、「国際耕種」との出会いである。そこで紹介された長根苗栽培における「根をデザインする」という考え方は、自分の根の研究を理論武装する強力な武器となった。根の研究は乾燥地への入口であり、中東を経験する機会を得た。乾燥地で求められるのは、必ずしも最先端のハイテク技術ではなく、「AAINews」で紹介されるような自然や生物に学ぶ伝統的な知識、それを活かすローテクの適正技術である。そこに、拘り続けて頂きたい。

森田茂紀
東京農業大学教授・東京大学名誉教授

ありきたりな言葉で申し訳ありませんが、AAINews 第 100 号の発行、大変おめでとうございます。毎号とても楽しみに読ませて頂いておりますが、これだけ充実した内容を季刊ごとに発行することはとても大変なご苦労があったと想像いたします。編集に携わっている皆様が内容について「より深く、より良いものを」という意気込みと共に、むしろこのご苦労を楽しみながら作業をされているのではと羨ましくも感じております。「継続は力なり」ですね。AAI の皆様の益々のご活躍とご発展を祈念しております。

島崎一幸
ラオス ADB G0534: NRI-AF プロジェクト実施コンサルタント

第 100 号を記念して、読者の皆様からの声を掲載させて頂きました。尚、執筆者氏名の掲載につきまして貴重なご意見を頂きましたが、書かれている見解や意見は会社全体のものという認識から記名はしてきませんでした。今後共、御理解頂けますようよろしくお願い致します。